

# 一 般 質 問

平成28年12月7日(水)

14番 大野 幹 恭 議員

## 1. 日本版CCRC構想について

- ①米国に於いて広く行われている同方式は、我が国でも導入が具体的に検討される段階となったが、市として調査研究はされているか伺う。
- ②また既存の施設や、既に構築された地域包括ケアシステム、見守りネットワーク、障がい者支援システム等も含め、関連付けた具体的構想を練られたことはあるか伺う。
- ③今後推進の考えはあるか伺う。

## 2. 空き家対策について

- ①現在、市のホームページでは、市内不動産ネットワーク事業を通じ、売り家、空き家・空き地情報を公開しているが、情報量も多くはない状況であり、現在の仕組みを維持活用しながら、借りたい、買いたい方達の登録も受け付け、もう一步踏み込んだ「空き家バンク」制度として実施する考えはないか伺う。
- ②現在、売買に関しての空き家活用促進制度(補助金)はあるが、賃貸に関するも何らかの優遇策を講じる考えはないか伺う。

## 3. 買い物困難者への支援策について

- ①農水省による「食料品アクセス問題と高齢者の健康」に関する報告では、店舗まで500m以上で自動車の無い65歳以上の高齢者を買い物困難者と想定しており、北海道では降雪の及ぼす影響も考慮すると、その条件は更に厳しく考えるべきであり、以前にも関連の質問をしたが、あらためて、本年度農水省食料産業局による「食料品アクセス問題」に関するアンケートへの本市の回答内容の概要について伺う。
- ②市として、市民への買い物に関するアンケートを行い、詳細な実情の把握に努める考えはないか伺う。
- ③現在本市の行っている、食の自立支援サービス事業、外出支援サービス事業、福祉利用割引券交付事業の三事業の他に、視点を変えて、商業者から高齢者等が買い物をしやすい環境づくりを進める場合(出張販売・宅配などの事業)に支援する施策を行う考えはないか伺う。

---

3番 千葉 正 威 議員

## 1. 水素戦略推進事業について

- ①事業内容と効果について

## 2. 災害対策について

- ①被災者台帳「被災者支援システム」の導入・運用について
- ②災害発生時における避難所運営について
  - イ. 運営マニュアルの整備状況について
  - ロ. 運営ガイドラインについて
  - ハ. 避難所設営の訓練の実施状況について
  - ニ. 避難所支援班の組織と災害時の動きについて
  - ホ. 災害発生時の職員の動きについて

## 3. 高齢者施設の避難計画について

- ①対象施設の状況把握について
- ②災害時の指揮系統や関係機関との連携体制について
- ③避難場所等の計画について
- ④避難訓練の実施に向けて

## 4. 脳脊髄液減少症について

- ①市内における実態把握について
- ②教育現場における情報提供と予防の為の取り組みについて
- ③道及び関係機関と連携した啓発活動の推進について

## 5. 改正発達障害者支援法について

- ①改正法のポイントと市の取り組みについて
- ②発達障がい児に対する、教育現場における個別の支援計画や指導計画の作成を法律に明記しましたが、市の取り組みについて

-----

4 番 蜂 谷 三 友 佳 議 員

## 1. 来年度予算編成について

- ①市の来年度予算編成の基本方針と、新年度における現時点での特徴についてお示しいただきたい。総務省は「平成29年度の地方財政の課題」として地方交付税の実質前年度額を確保する方針を示すと同時に一般財源総額確保を要求しており、それらの動向や市の財政環境の健全化と合わせて伺いたい。また、市民生活応援、地元中小・零細企業支援策など具体的な予定事業はいかがか。

## 2. 労働力の確保対策について

- ①近年、どの産業分野においても労働力の不足が事業の安定的な継続を困難にする要因となっている。とりわけ、一次産業、子育て、福祉などは深刻であり、潜在的な労働力の発掘と事業者とのマッチングをどう図っていくか、新たな仕組みづくりが地域の活力維持に欠かせない課題となっている。周辺部対策も含め、基礎的な調査の実施と横断的な検討を踏まえ新たな対策を求めたい。

## 3. 教育支援と教育環境整備について

- ①給付型奨学金の拡充。
- ②就学援助制度の充実のためクラブ活動費を対象に、また、入学支度金の前払いの仕組みを。
- ③浜益中学生のクラブ活動交通費の改善。
- ④旧浜益高校教職員住宅の所管替え。

## 4. 次期介護保険事業計画について

- ①第7期介護保険事業計画の策定期を迎えるが、度重なる制度の改定がこの間なされてきたことから、次期計画のスキームはどうなるか。  
また、保留となっている浜益区の施設増設について。

---

7 番 神 代 知 花 子 議 員

## 1. 臨時・非常勤職員の処遇改善について

- ①「女性活躍推進法」に基づく事業主行動計画策定指針では、自治体任命権者に対し、女性非正規公務員を含む全女性労働者の計画となるよう「女性の非正規労働者の処遇改善推進策や正職員への転換支援」などを盛り込むように示している。しかし、石狩市特定事業主行動計画には、全女性職員の約55%が非正規労働者であるにも関わらず、対策は計画に反映されていない。女性の非正規労働者の働き方の問題について、市は任命権者としての責任をどのように捉えているのか。
- ②現在、国で審議されている「働き方改革」では、「同一労働同一賃金」の実現を目指し、正規・非正規の不合理な賃金格差の是正のため、ガイドラインづくりや関連法案の改正などが進められている。また、平成28年3月23日参議院厚生労働委員会では、同一労働同一賃金について「(非正規)公務員も排除していない」と総務省所管は答えており、民間が先行して取り組みを進める中、自治体においても最も取り組むべき課題を洗い出すべきだが、現状でどんな課題があげられるか。また、正規職との不合理な賃金格差を客観的判断をもって是正する手段として、職務分析・職務評価などを用い、「仕事の価値に見合った賃金水準」を出すべきと考えるがいかかか。

③改正労働契約法では、有期労働契約が繰り返し更新されて通算5年を超えた時、労働者の申込みにより、期間の定めのない無期労働契約に転換できるとされている。平成26年7月総務省の通達によると、自治体非常勤職員も「法制度の改正に留意して」とあり、非正規職員を5年の年限で区切り、再任用のための採用試験を1年毎に実施するのは、民間の制度改正との整合性が取れていない。非常勤職員のうち5年の年限で雇用が終了し、再応募、再任用された人は現段階でどのくらいいるのか。また、どんな職種での再任用が多いのか。再任用にあたり、選定・評価基準はあるのか。経験を積んだ人材を使い捨てるように雇止めすることは公共サービスの低下を招くため、年限を定めるべきではないと考えるが、年限を超えた再任用に関して市の見解を伺う。

## 2. アウトソーシングについて

①現在アウトソーシングは、業務委託と指定管理、それぞれどのような進捗状況か。財政的な効果を数値でどう把握しているのか。今後、どの程度、どの分野でアウトソーシングを推進する必要があるのか(すでに決まっていることも含めて)具体的に伺う。

②業務委託と指定管理それぞれについて

- ・人件費の算定根拠は何らかのルールに基づいているのか。
- ・民間営利事業者、非営利事業者、外郭団体では、契約や協定の際、事業による「利益」はどのように扱うのか。
- ・見積合わせをする際、必ず市の予定価格を積算した上で、相手先の見積もりと比較しているのか。また、どの程度コスト削減できることが望ましいのか。
- ・アウトソーシングの必要性の是非、契約・協定先の選定方法、選定した理由、委託料・管理料が適正かの判断、事業の効果、次年度以降の更新の是非など、内部で決定されることが多く、市民が情報を知る手段が少ない。特に指定管理の評価は実態を反映できておらず改善の余地があるのではないか。労働者の雇用環境を守るためにも、担当課が情報を把握し、集約したものの中から適切な情報は公開すべきと考えるがいかがか。

③幾つかの事業者から聞き取りをしたが、非正規雇用が多く、賃金も低く抑えられている。市の経費削減によるしわ寄せが民間に及んでおり、指定管理者制度そのものの問題を見直すべきと考えるが、どのように認識しているか。

## 3. 風力発電について

①再エネ推進やCO<sub>2</sub>削減に関わる事業の現状はどうなっているか。また、エネルギービジョンの目標数値に対し、現在の達成度を伺う。

②(仮称)石狩湾新港洋上風力発電事業について、他の民間事業者の計画とは違い、事業募集を主体的にし、積極的に事業に関わり、その波及効果を期待していると思うが、市として現状と今後の展開を含めどのように捉えているのか。また、この風車事業に関しては、環境保全、環境影響の面で自然や住民との間に問題が起きたときに、市はどのように対応するのか。

③環境省が風力発電の騒音についてパブコメを募集し、その結果と検討委員会の報告書を公開した(11月30日)。これを受けて、国のガイドラインが今後作成されるが、風車の低周波が健康被害を及ぼすとはしていない。しかし、現実には全国で様々な症例があり、反対運動も起きている。この状況を市としてどう捉えているか。地域住民の健康を守る立場の市として、風車稼働後、自主的に聞き取り調査を行うなど考えられるが、今後の方策をどうしていくか伺う。

## 1. 教育行政について

①平成28年度の全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、本市の今後の取り組みについて伺います。

## 2. 紅葉山49号遺跡の展示について

①現在、紅葉山49号遺跡の出土品の大部分は旧生振保育園に保管していると認識していますが、建物も老朽化しており、倒壊の危険もあります。  
鮭の捕獲施設に伴う貴重な出土品が多数あると思いますが、今後どのように展示していく考えか伺います。

## 3. 子ども・子育ての総合支援について

①本年4月に子ども政策課を設置し、総合的な対策を実施していますが、妊娠から子育てまで切れ目のない支援に取り組まれていることに評価をしております。  
29年度に取り組まれる内容について、現在検討している内容について伺います。

## 4. 国民健康保険データヘルス推進事業について

①国保の累積赤字は6億円を超え、平成30年度からの都道府県化への移行と併せ、その解消策について、データヘルス推進事業を実施し、生活習慣病の抑制による医療費の削減に努めている事は承知していますが、平成29年度の取り組み内容について伺います。

## 5. 女性の活躍推進について

女性活躍推進法が昨年8月に成立し、翌9月から施行されております。

①現在、市には様々な審議会等が設置されておりますが、女性の占める割合はどの程度になっていきますか。  
②本年3月に「石狩市特定事業主行動計画」を改訂実施しておりますが、内容と、これに基づく達成状況及び達成見通しについて伺います。

## 6. 今後の手話施策について

手話条例が制定施行され、まもなく3年が経過します。

①現在の見直し状況とその内容について。  
②今後の更なる普及拡大に向け、どのような施策を検討しているのか伺います。

## 7. 防災マスターについて

本市において、地域の防災リーダーである「石狩市防災マスター」が活躍していることは承知しております。

①これまでの取り組み状況、活動の効果について伺います。